

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフル宇都宮			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～	2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	82	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～	2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な課題を持つお子さまへの支援を行っていく中で、それぞれのお子さまの課題に見合った支援を行うことができている。	年齢の異なるお子様が同じフロアで過ごされるため、安全面へ配慮することができるように、また発達に特性のあるお子さまが活動しやすいように室内の物の配置に配慮したり、スケジュールなどの視覚化したりなどの配慮を行っている。	利用の回数の少ないお子さまへも、そのお子さまの特性に配慮した支援を行うことができるように、スタッフ間の情報共有を密に行っていききたい。
2	保護者の方からご心配事を伺った時など、すぐにご対応させていただくようにしている。	保護者の方だけではなく、お子様自身が悩んでいらっしゃる様子がある時には、安心できる環境を整える事によって話しやすい場を提供し、直に対応している。	保護者の方が気軽に相談できるよう職員の方から言葉かけをしたり、お子様が安心して相談できるよう職員の支援の姿勢を工夫し、また相談があった場合はその情報を職員間でも共有しすぐに対応していききたい。
3	安全計画などを策定し、それに基づいた支援を行うことができるように工夫している。	室内での安全、送迎時の安全など、様々な場面での安全確保を第一に考え、お子様への支援を行うことができるようにしている。	安全面の研修や、職員同士のミーティングなどを通して、支援中の様々な場面での危険性について確認し、安全にお子さまを支援できるように努めていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動のスペースが十分でない場合がある。	学習面や机上課題を中心に実施することを目的としている事業所であり、室内で身体を動かす活動を行うことが難しい。	屋外での活動や地域の遊び場などを活用するといった、事業所内以外での活動の実施も考慮していきます。お子様が安全に活動できる場を検討し、事業所以外でも活動できるスペースを確保できるようにしていきます。
2	見学や契約の際に、事業所の詳細や、事業所での活動内容について説明している。	お子様向けの支援が中心となっており、ご家族向けの研修会の実施やご家族への情報提供などを企画できていない。	ご家族の方も参加できるような研修を計画したり、保護者の方も参加できるようなレクリエーションを実施する中でご家族の方への情報提供の方法を検討していきます。
3	#N/A	#N/A	#N/A

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフル小山		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の困り感に寄り添った支援を行うことができる。	送迎やモニタリングの際などに、保護者の方が話しやすい環境を整えることで、保護者に寄り添うことができるよう日頃から心掛けている。	お子さまの事業所での様子も確認しながら、「できていること」「できるようになったこと」「工夫すればできること」を保護者の方にお伝えしていくことで、保護者の方がお子さまと安心して関わることができるよう目指していきたい。
2	お子様の様子も保護者の方へお伝えすることで、間接的なやり取りから、お子様と保護者のお方との情報伝達を支援している。	事業所ご利用の際のお子さまの様子を適切に保護者の方にお話しさせて頂いたり、お子様の出しているサインなどを保護者の方へもお話させていただいている。	お子さまの困り感など、事業所内で気づいた情報を保護者の方にもお伝えさせていただくことで、お子様と保護者の方がスムーズにやり取りできるように支援を行ってきたい。
3	契約の際などに、事故発生時の対応についてご説明できるようにしている。	保護者の方からのご要望があった時には、速やかに事故発生時の対応などについてご説明するようにしている。	事業所で作成、使用している事故発生時のフローチャートについて、改めて職員間でも共有し、保護者の方へもご要望があった際にはいつでもご説明できるように努めていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援プログラムの公表を周知出来ていない	支援プログラムがホームページ上のどの部分で公表されているのか、保護者の方がご存じでない場合がある。	事業所の支援プログラムについて、ホームページ上のどこで公開しているのか、保護者の方へも周知していくことによって、事業所内での支援プログラムを把握していただけるように配慮していきます。
2	保護者同士の交流の機会を持つことが難しい	レクリエーションで取り組んでいる様々な活動がお子さまを中心に組み立てているため。	土曜・祝日、また長期休暇などを利用して、ご家族(保護者やきょうだいの方など)も交流できる機会を少しでも作っていくことができるようにします。また、保護者の方のニーズを把握し、そのニーズに見合った交流の機会を検討していきます。
3	#N/A	#N/A	#N/A

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフル船橋		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	--	(回答者数) --
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	--	(回答者数) --
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	身体を動かす活動なども室内で行うことができるよう、広い場所を確保している。	子どもの発達の基礎となる身体づくりを行うことができるように、広いフロアを利用して運動の課題なども積極的に取り入れている。	安全に配慮しながらも楽しく活動が行えるように、活動ごとにフロアの使い方に工夫をしていきたい。
2	地域の活動の場所に出かけるなど、地域の活動に参加することができるようにしている。	室内における活動だけではなく、屋外での活動や他の児童が活動している場に参加することで、地域のお子様との場を共有することができるように活動の工夫を行っている。	様々な情報の媒体を活用し、お子様が参加できるような地域での活動を確認し、様々な地域の活動へ参加できるようにしていきたい。
3	保護者の方が目に見える所にマニュアルを提示することで、どのようなことに心掛けているのか伝わりやすくしている。	訓練を実施した時など、サービス提供記録などを通して保護者の方へも詳細をお伝えしている。	サービス提供記録だけではなく、事業所のブログなども活用して、非常時や災害時の対策について保護者の方へもお伝えできるように心掛けていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動のスペースが十分でない場合がある。	学習面や机上課題を中心に実施することを目的としている事業所であり、室内で身体を動かす活動を行うことが難しい。	屋外での活動や地域の遊び場などを活用するといった、事業所内以外での活動の実施も考慮していきます。お子様が安全に活動できる場を検討し、事業所以外でも活動できるスペースを確保できるようにしていきます。
2	地域との連携が弱い。	学童や支援学校、また地域とのやり取りを行う機会をあまり持つことができていない。	日頃から、地域の方との関わりを大切にし、地域への活動の参加など連携出来ることを検討していきます。また、保護者の方からご意見をいただきながら、保護者の方が必要と考えている交流の方法などについても改めて検討していきたいと思えます。
3	訓練を実施していても、それを十分にお伝えできていない。	訓練を実施していても、それを保護者の方にお伝えする方法が十分でない場合がある。	避難訓練を実施している事などが保護者の方へ伝わり辛い状況もあったと思われるため、ブログなどで活動についての周知をおこなったり、サービス提供記録などで訓練実施の際のお子さまの様子などをご報告させていただきよう、報告の仕方を検討していきたいと思えます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフル西宮		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	--	(回答者数) --
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	--	(回答者数) --
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の発達段階や特性に合わせた支援を行うことができるように、専門的な知識を有する職員を配置したり、職員の人数を確保したりしている。	常勤、非常勤の職員に関わらず、一人ひとりのお子さまの支援を適切に行うことが出来るように、話し合いの場の確保や情報共有の仕方を工夫していきたい。	常勤、非常勤の職員に関わらず、一人ひとりのお子さまの支援を適切に行うことが出来るように、話し合いの場の確保や情報共有の仕方を工夫していきたい。
2	見学や契約の際に、事業所の詳細や、事業所での活動内容について説明している。	できるだけ平易な表現での事業所の説明を心掛けている。	パンフレットなども活用し、言葉だけではなく視覚的な情報も役立てながら事業所利用についての説明を行うことができるよう心掛けたい。
3	避難訓練など定期的に実施することで、非常時の安全を確保できるようにしている。	非常災害の対策に関するマニュアルの策定や、定期的な避難訓練などを行うことで、日頃から非常時に対応できるようにしている。	地震や水害などの自然災害にも職員一人ひとりが対応できるように、研修を実施したり、訓練を実施したりすることによって日頃からの意識付けを行っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な活動に見合う環境を整えることが難しい場合がある。	フロアの床がすべての活動に見合う物では無かったり、壁などの防音などが完全ではない。	視覚や聴覚などからの刺激が入りやすいお子さまの特性に配慮し、パーテーションの使用、マットの使用などの工夫を行っていく事で、安心して活動に参加していただくことができるように配慮していきます。
2	日々の支援の情報をお伝えするにとどまっている。	お子様向けの支援が中心となっており、ご家族向けの研修会の実施やご家族への情報提供などを企画できていない。	ご家族の方も参加できるような研修を計画したり、保護者の方も参加できるようなレクリエーションを実施する中でご家族の方への情報提供の方法を検討していきます。
3	マニュアルの作成や職員への周知、また災害発生時などの必要な訓練、など事業所で必要な取組が行われていることが保護者の方へ伝わり辛い。	マニュアルが作成されている事や訓練の実施など、保護者の方への伝え方が不十分な面がある。	保護者の方が目に見える所にマニュアル等を置く事や、保護者の方からのご要望があった場合、マニュアルを確認していただけるようにしていくなどを検討していきたいとおもいます。